

令和7年5月30日

「神奈川台場のデジタルコンテンツ作成、活用事業」趣意書

公益社団法人

神奈川台場地域活性化推進協会

1. 背景

神奈川台場は、横浜開港の翌年に、横浜港防衛のため勝海舟設計により築造された巨大な砲台場であり、専ら外交礼儀上の祝砲を放つ施設として利用された。都市の発展とともに埋め立てられ、現在は石積みの一部を除き遺構は地中にあるほか、当時の様子をうかがえる錦絵・古写真などの史料が残っている。関東大震災や空襲の被害により、開港当時の建造物がほとんど残っていない横浜にとって、神奈川台場の遺構は、開港都市横浜を物語る貴重な遺構であり、後世に語り継いでいくべきものと考えている。

2. 趣旨（目的）

開港都市横浜を物語る重要な遺構である神奈川台場の認知度向上、神奈川台場周辺地域の活性化、歴史観光、歴史教育の活性化につなげることを目的とする。

3. 事業概要

横浜市と協定を締結し、神奈川台場やその周辺を仮想現実の技術を用いて再現し、映像や遺構現地で、スマートフォン等で体験できるコンテンツを制作、活用を行う。

- ・高精細CGを利用した映像制作
- ・体験型VRシステムの開発
- ・スマートフォン向けガイドコンテンツの開発
- ・上記デジタルコンテンツの維持管理
- ・デジタルコンテンツを活用する神奈川台場の広報活動

4. 期待される効果

横浜のにぎわい創出や観光振興、地域学習への活用を推進し、横浜市や神奈川区への愛着や憧れを高めるものとして期待できる。

5. おわりに

未来を担う子どもたちが、地元や周辺地域の歴史に誇りを持てるようなデジタルコンテンツの作成、活用に取り組んでまいります。

皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。